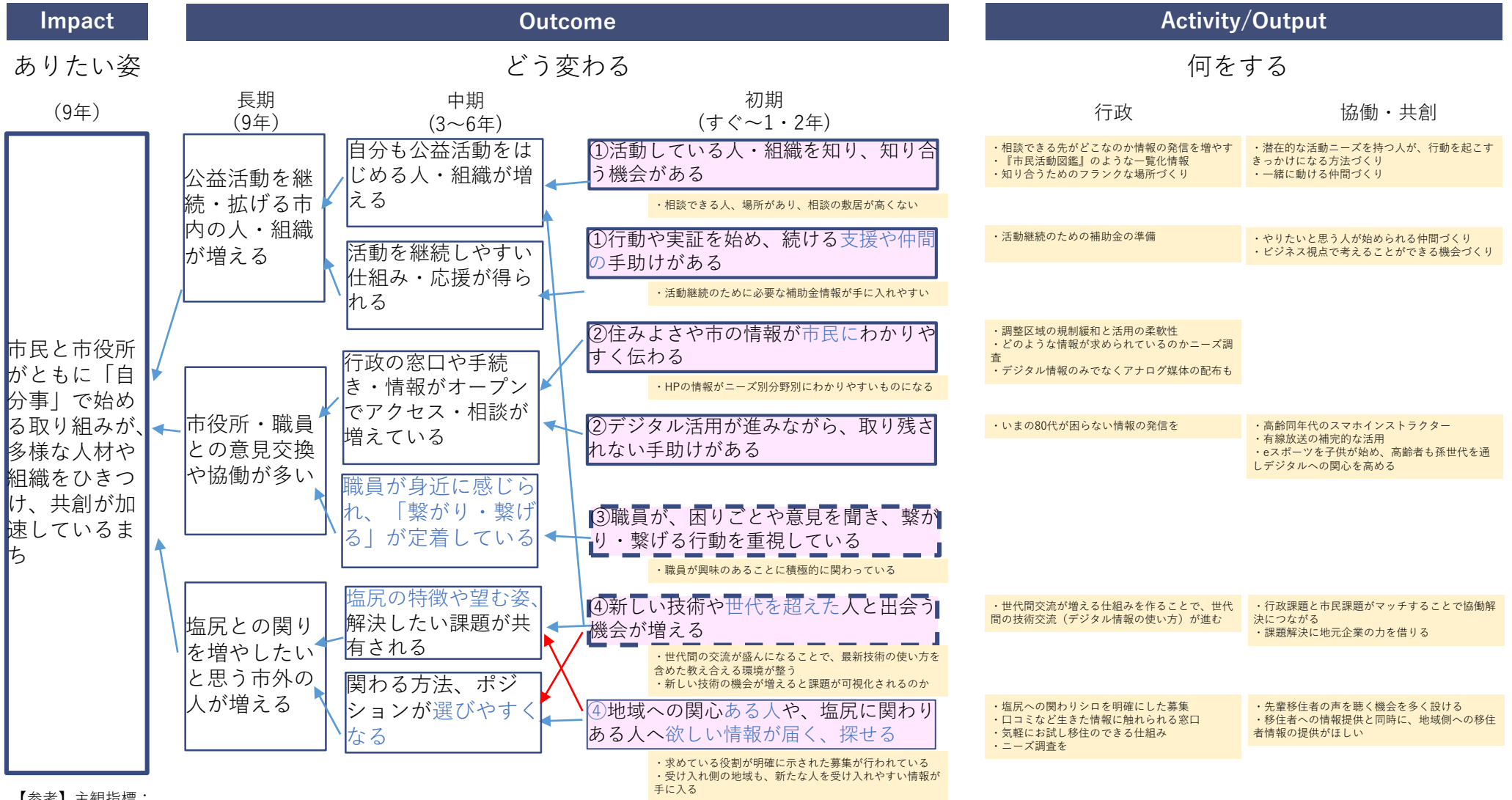


※青字は意見などを受けた修正



【参考】主観指標：
行政は地域のことを真剣に考えていると思う市民の割合

ワークショップの内容・ロジックモデルの変更点の概要

- ・ロジックモデルの見直しに関する意見は出されなかったが、初期アウトカムの具体的なイメージを踏まえて、文言を調整をしている。
- ・アクティビティについては、塩尻に関心を寄せる地域外の方向けの情報提供について意見が寄せられる一方、既存住民側への新規流入者の情報提供を含めた情報交換が求められた。
- ・塩尻での活動を促進するために、すでにある情報へのアクセスのしやすさ（親近感、敷居の低さ）や仲間づくりが大切であることに多くの意見が寄せられた。相談先がわかりやすくなることで、すでに整備されている環境の活用が進むと考えられる。

